

越後三山只見国定公園(福島県地域)

公園区域及び公園計画の変更
(第1次点検)

御説明の流れ

1. 越後三山只見国定公園について
2. 今回変更(第1次点検)について
3. パブリックコメントへの対応について

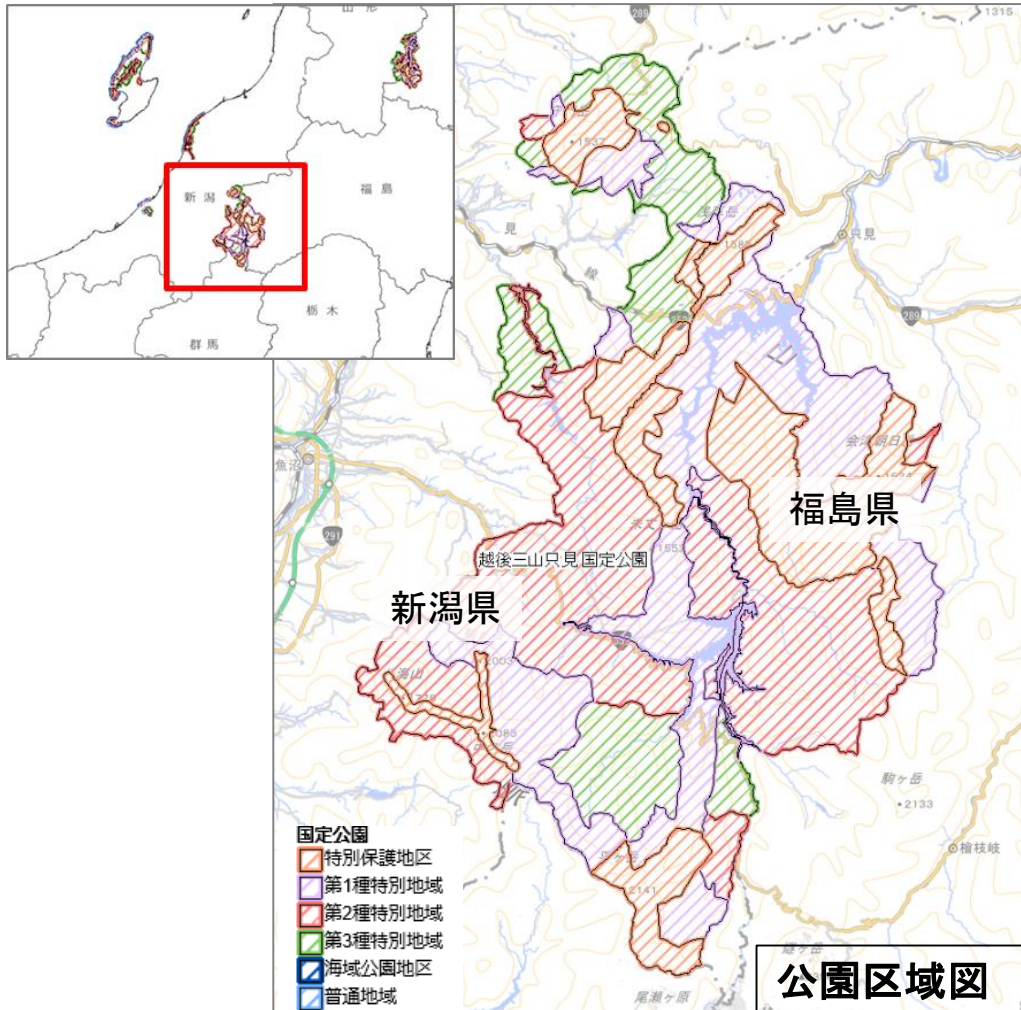
御説明の流れ

1. 越後三山只見国定公園について
2. 今回変更(第1次点検)について
3. パブリックコメントへの対応について

越後三山只見国定公園の概要

指定：昭和48年5月15日

面積：※86,129ha（福島県：33,665ha、新潟県：52,464ha）



※指定当時のデータ。現在の区域面積と若干のずれあり

●風景形式

越後三山(駒ヶ岳、中の岳、八海山)、平ヶ岳、朝日岳、浅草岳、守門岳等の山々、その間を流れる只見川、信浪川支流の魚野川、破間川等の河川が作る深いV字谷

●見直しの経緯

昭和48年 国定公園の指定
令和3年 一次点検(今回)

関係市町村	
福島県	檜枝岐村、只見町
新潟県	三条市、魚沼市、南魚沼市

御説明の流れ

1. 越後三山只見国定公園について
2. 今回変更(第1次点検)について
3. パブリックコメントへの対応について

今回変更のポイント

○公園区域の変更

越後三山只見国定公園との地理的な連続性及び風景の一体性、並びに利用の連続性をふまえ、現在の只見柳津県立自然公園全域とその周辺部の一部を国定公園として拡張する。

○保護規制計画の変更

既存公園区域について、地種区分線の明確化を図るとともに、沼ノ平及び沼沢湖周辺において風致の保護上特に重要な区域について、特別地域の指定を行う。

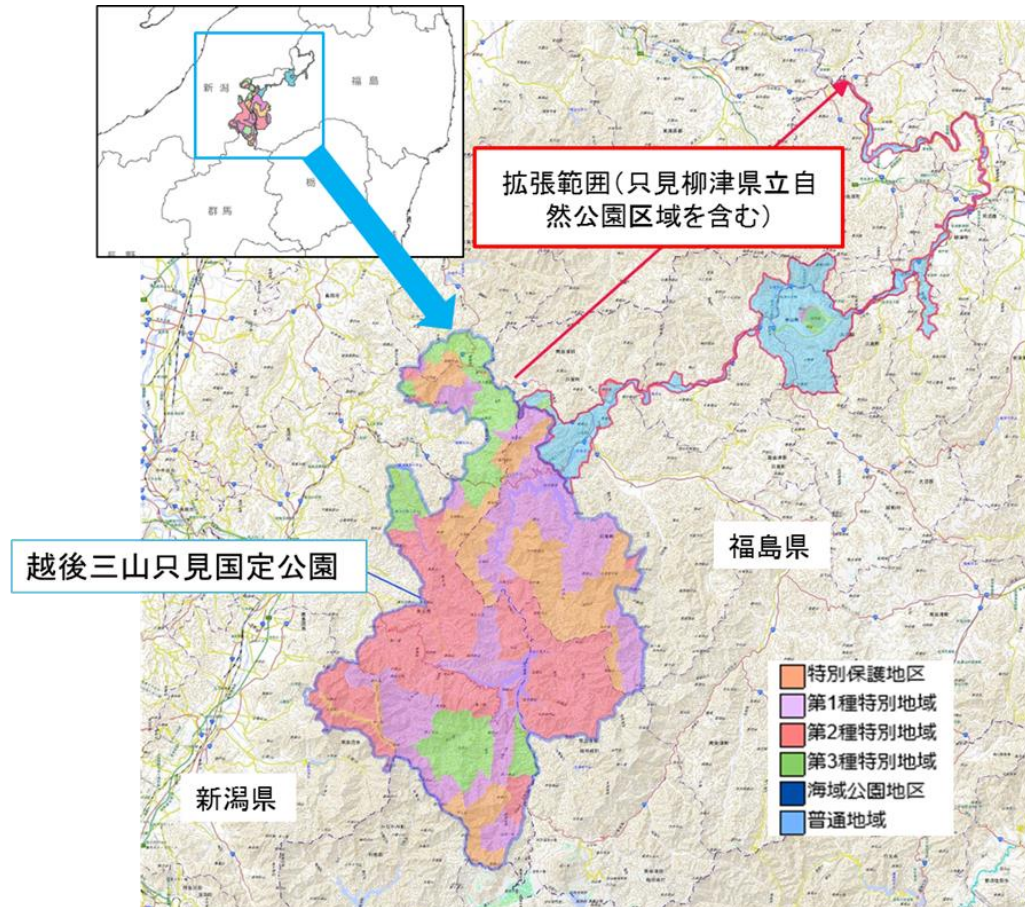
○利用施設計画の変更

公園区域の拡張に伴い新規の計画を追加するほか、既存公園区域においても、現行の単独施設、道路(車道、歩道)について、事業執行状況、利用実態及び必要性等を確認し、必要な追加、変更又は削除を行う。

①只見柳津県立自然公園等の越後三山只見国定公園への編入について

○公園区域の変更

越後三山只見国定公園との地理的な連続性及び風景の一体性、並びに利用の連続性をふまえ、現在の只見柳津県立自然公園全域とその周辺部の一部を国定公園として拡張する。



①只見柳津県立自然公園等の越後三山只見国定公園への編入について(経緯)

ふくしまグリーン復興構想 (概要版)

福島県・環境省
平成31年4月



1 背景・目的

- 福島県の自然公園利用者数は、震災前の7割に満たない状況が続いている。
- 環境省は、「福島再生・未来志向プロジェクト」の一つとして、「ふくしまグリーン復興への支援」を行うことを公表した。
- 「ふくしまグリーン復興構想」は自然環境の保全と調和を図りながら適正な利用により、国内外の交流人口の拡大を目指す。

2 自然公園の概況

- 自然公園を有する市町村向けアンケートでは、自然公園における保全や利用の取組について、力をいれるべきと半数以上が回答。



3 自然公園を取り巻く課題等

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| (1) 上質な景観の保全
樹木の生長等、眺望、景観阻害 | (5) 情報発信
正確な情報発信/一元的な情報発信 |
| (2) 利用拠点の老朽化
施設の老朽化/ニーズへの対応遅れ | (6) 自然環境の保全
外来種の侵入、食害/環境変化 |
| (3) 自然公園の利用実態
日帰り・短時間利用/一時的な渋滞 | (7) 環境負荷の低減
脱炭素、資源循環の取組 |
| (4) インバウンド対策
外国人利用者目線での改善 | (8) 交通環境整備
二次交通の整備と利便性向上 |

4 目指すべき姿

- 自然環境を適切に保全するとともに、自然体験の提供を通じて自然保護意識の醸成を図り、自然の恵みを次世代へ継承する。
- 魅力向上と周遊する仕組みづくりなどにより、自然公園利用者数の回復と交流人口の拡大を図り、福島県全体の復興に寄与する。
- 脱炭素や資源循環等の視点による新たな仕組みの検討や構築等を通じて、環境負荷が少なく持続可能な自然公園を目指す。

5 目標

国立公園・国定公園利用者数

H22(2010)年 640万人 → H29(2017)年 580万人 → 【目標】R5(2023)年 700万人

コンセプト

まもり、みがき、未来へつなぐ。至福のふくしま

6 3つの柱と具体的取組

国立公園・国定公園の 魅力向上

自然公園の魅力を活かし、磨きあげ、公園の特徴をいかしたコンテンツを創出。

- インバウンド対策
サイン等多言語化/サービス向上
- 景観の改善
ビューポイントの選定・整備



- エコツーリズムの推進
ファムトリップ
モニターツアー/フェスティバル
- 自然環境の保全
水環境保全活動、調査研究
野生鳥獣による食害対策 等
- 二次交通の検討



- 利用拠点の整備・充実
尾瀬沼ビジターセンター整備 等

環境変化を踏まえた 県立自然公園の見直し

只見柳津県立自然公園と越後三山只見国定公園を一体的に管理し、保護と適正利用を推進するための調査、検討。

- 県立自然公園の国定公園編入
自然環境調査/協議/連携



国立公園・国定公園を中心に 福島県内を広く周遊する仕組みづくり

自然資源等をつなぎ合わせ広域周遊や何度も訪れたい組を組みを構築。

- ロングトレイルを含む
周遊ルートの設定
ホープツーリズムと連携



- 周遊促進の仕組みづくり
- 多様な移動手段の検討



- 国立公園
①磐梯朝日/②日光/③尾瀬
- 国定公園
④越後三山只見

- 県立自然公園
⑤霊山/⑥霧ヶ城/⑦南湖
⑧奥久慈⑨阿武隈高原中部
⑩夏井川溪谷/⑪大川羽鳥
⑫只見柳津/⑬松川浦
⑭磐城海岸/⑮勿来

7 効果的な実施に向けて

推進体制の整備

- ・団体、市町村等と推進体制
- ・専門家からのアドバイス

情報発信・プロモーション

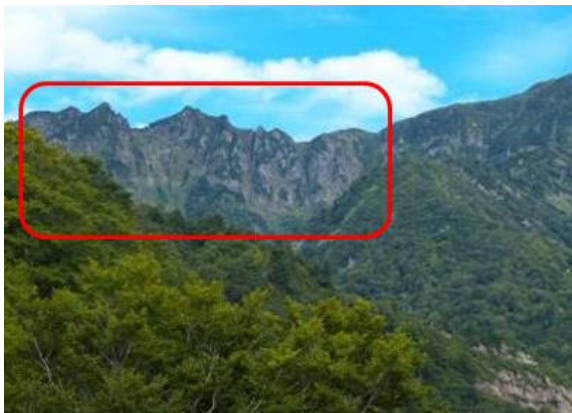
- ・ワンストップ型ホームページ
- ・海外への周知
- ・各種事業との連携

①只見柳津県立自然公園等の越後三山只見国定公園への編入について(経緯)

●令和元年～ 福島県主体で自然環境調査、関係機関等との調整を実施

景観の特徴

- 国内有数の豪雪地域であり、急峻な山岳において雪食地形等、世界的にも珍しい独特の自然景観が広がっている。
- 只見川周辺は、積雪地特有の構えを持つ家屋群と只見川の流れが一体となって、自然景観の中に自然と共生した地域の暮らしが溶け込み、独特な里山景観や幻想的な風景が作りだされている
- 阿賀川周辺には銚子の口等の河川的作用でつくられた勇壮な景勝地がみられる。



アバランチシュートの遠景(浅草岳)



大志(おおし)集落(金山町)



銚子の口(西会津町)

①只見柳津県立自然公園等の越後三山只見国定公園への編入について(経緯)

●令和元年～ 福島県主体で自然環境調査、関係機関等との調整を実施

植生・野生動植物の特徴

- 越後山脈南部及び三国山脈の一部には、人為による影響をほとんど受けていないミヤマナラ等の亜高山帯低木林やブナなどの自然林が保存され、カモシカ、ツキノワグマ等の大型哺乳類、イヌワシやクマタカなどの希少な猛禽類等の生息地となっている。
- 只見川の流域には、ブナを含む自然林が広範囲に広がり、比較的広い河原の一部にはヤナギ類の河畔林が点在する。その他の場所では、河岸と山とが接しており、カエデ等の落葉広葉樹林が分布する。



カモシカ



只見町ブナセンターwebサイトより引用

ヒメサユリ



田子倉湖と雪食地形(只見町) 9

①只見柳津県立自然公園等の越後三山只見国定公園への編入について(経緯)

●令和元年～ 福島県主体で自然環境調査、関係機関等との調整を実施

利用状況

利用者数:約125万人/年*

- ・越後三山や浅草岳及び朝日岳、蒲生岳等の登山利用
- ・旧街道等を利用したトレッキング
- ・磐越西線や只見線、自動車等各種交通手段を利用した公園内の多様な景観資源を巡る周遊利用、鉄道と只見川、多雪地特有の家屋等が作り出す景観の撮影地巡り
- ・只見川を活用したアクティビティや田子倉湖における周遊船運航等

* 令和元年(越後三山只見国定公園(福島県地域4.3万人、只見柳津県立自然公園121万人):速報値



霧幻峡の渡し(金山町、三島町)



第一只見川橋梁の眺望を楽しむ人々



田子倉湖遊覧船

①只見柳津県立自然公園等の越後三山只見国定公園への編入について

- 本地域は、広大なブナ等の自然林に希少な生物が生息する傑出した自然林生態系、豪雪が作りだした雪食地形等の特異な自然景観に加えて、只見川や阿賀川の河川景観が複合的かつ一体となった景観を風景型式とした我が国を代表する地域となっている。
- 只見柳津県立自然公園は、越後三山只見国定公園との地理的な連続性及び風景の一体性、ならびに利用の連続性をふまえて、現状の越後三山只見国定公園と一体のものとして保護することがふさわしい。

＜地種区分ごとの面積の変化：陸域（福島県地域のみ）＞

	特別保護地区	第1種 特別地域	第2種 特別地域	第3種 特別地域	普通地域 (陸域)	合計 (陸域)
変更前	11,011	12,818	10,031	0	0	33,860
変更後	11,011	12,890	10,150	609	15,771	50,431
増減	0	72	119	609	15,771	16,571



写真提供：星賢孝



写真提供：星賢孝



滝沢川甌穴群



蒲生岳山頂から只見川下流方向を望む

②公園区域の拡張について(県立自然公園からの変更点)



<只見川下流部～阿賀川>
多様な魚類の生息環境や景観の連続性を確保するため、只見川の河川区域の一部を拡張する。

<柳津温泉スキー場周辺>
利用の促進を図るため、公園区域を拡張する。

<大塩炭酸泉及び滝沢川甌穴群周辺>
特徴的かつ希少な自然景観を有している大塩炭酸泉及び滝沢川甌穴群について、自然景観の保全と利用の促進を図るため、公園区域を拡張する。

<会津柳津駅周辺>
只見線と一体となった公園利用を促進する際の情報発信機能を強化するため、公園区域を拡張する。

<第一只見川橋梁展望台周辺>
只見川と只見線を眺望する代表的なビューポイントとなっている。視対象となる右岸側の森林域と展望台を含むエリアについて公園区域を拡張する。

現在の県立自然公園区域の範囲

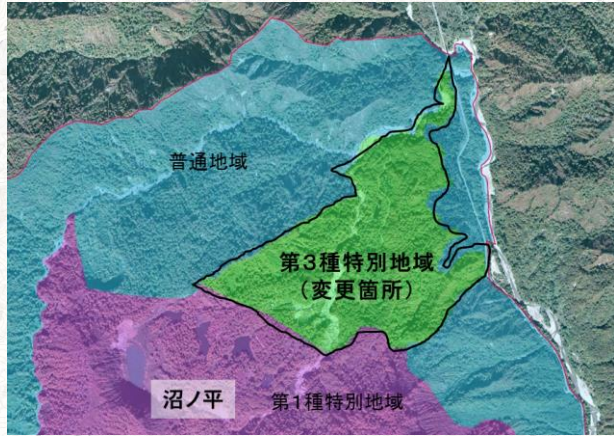


● 従来からの越後三山只見国定公園区域については、今回変更なし

②公園区域の拡張、③保護規制計画について

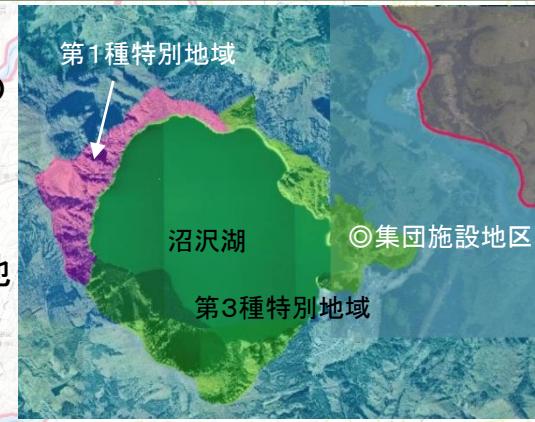
＜小三本沢周辺（沼ノ平周辺）＞

沼ノ平湖沼群と連続した湖沼群があり、水生生物の生息環境として適正に保護するため、第3種特別地域に指定する。



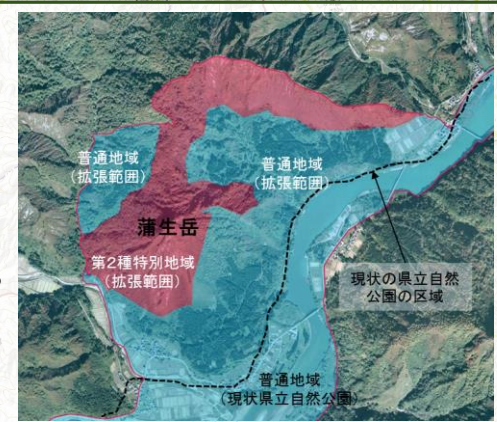
＜沼沢湖周辺＞

5400年前に噴火した沼沢火山の火口湖である沼沢湖と周辺に分布する森林が湖面と一体となった優れた自然景観を形成しているため、第1種及び第3種特別地域に指定する。



＜蒲生岳周辺＞

会津のmatterホルンと呼ばれる蒲生岳の山岳景観を保全するため、蒲生岳とその一帯を国定公園区域として拡張し、蒲生岳周辺について第2種特別地域を指定する。



現在の県立自然公園区域の範囲

④利用施設計画の変更について

2. 今回変更(第1次点検)について

○県立自然公園区域編入に当たっての新規計画

集団施設地区

1箇所(沼沢湖集団施設地区)

道路(車道)

6路線

道路(歩道)

7路線

道路(自転車道)

1路線

運輸施設

3箇所

単独施設

施設名	箇所数
園地	9
広場	11
展望施設	6
駐車場	4
宿舎	8
野営場	1
博物展示施設	1
スキー場	1

○現行の国定公園地域における利用施設計画の見直し

追加:道路(車道)1路線、道路(歩道)2路線

削除:道路(車道)2路線、道路(歩道)8路線、運輸施設4箇所、単独施設7箇所

変更:運輸施設(船舶運送施設1路線)

④利用施設計画の変更について

「広場」事業

只見線の駅舎とその周辺、道の駅等には「広場」事業を設け、公園利用に関する情報発信機能等を有する利用拠点として整備する。



只見駅



早戸駅



会津柳津駅

「園地」、「展望施設」事業

只見川や沼沢湖等の優れた眺望地点には展望施設を計画し、本地域の風景を楽しむことのできる場を提供し、眺望景観を適切に維持していく。



第一只見川橋梁周辺

御説明の流れ

1. 越後三山只見国定公園について
2. 今回変更(第1次点検)について
3. **パブリックコメントへの対応について**

パブリックコメントへの対応について

■概要

・実施期間 令和3年3月30日(火)～4月28日(水)

・意見募集の結果

【意見提出数】

電子メール、郵送、FAX 計 1 通

【整理した意見数】

今回の変更案にかかるもの 計 1 件